

## ②③ しらたにだい ごうきぼうえんていこうじ たずさ 白谷第3号砂防堰堤工事に携わってみて

蒲田建設株式会社 白谷第3号砂防堰堤工事  
(工期：平成27年4月1日～平成27年10月16日)

監理技術者 平田 美年

現場代理人 中田 圭介

現場従事者 ○香山 かやま 杜斗 もりと

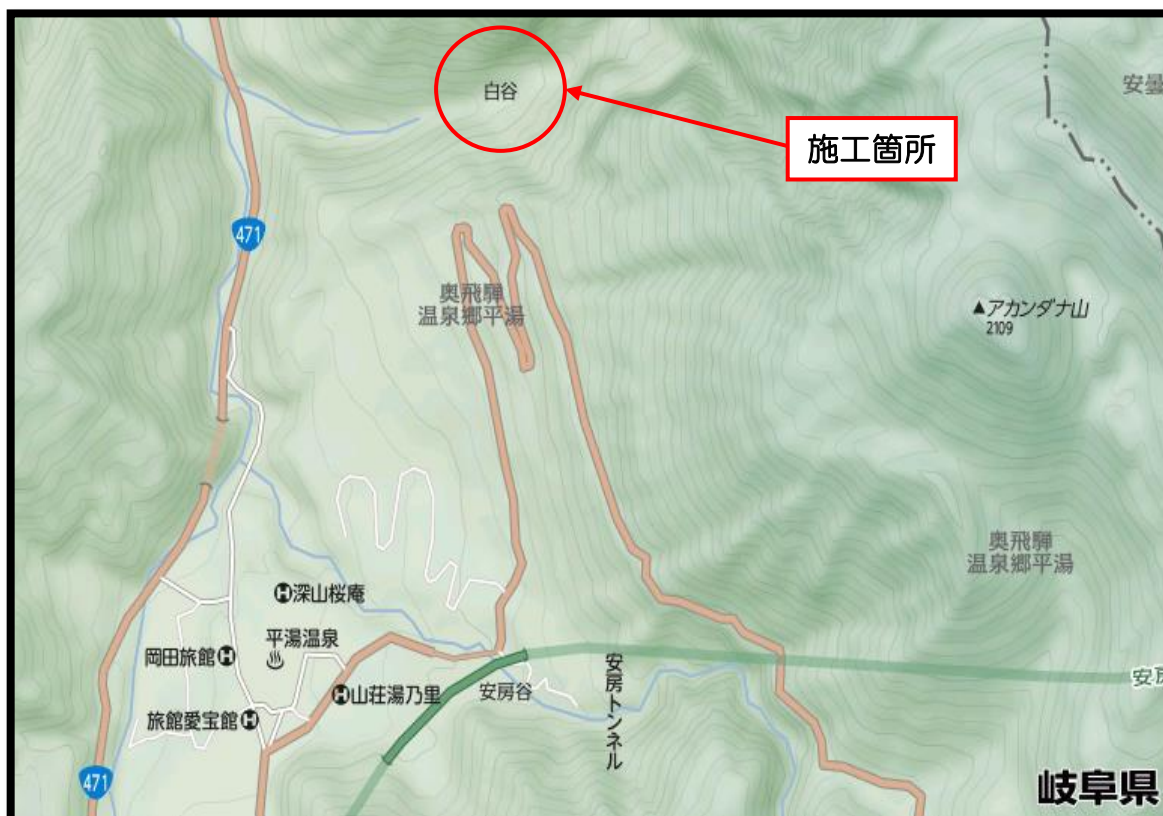
キーワード 土石流・安全管理・熱中症

### 1、はじめに

私が入社して最初に携わった工事が、中部山岳国立公園内に位置する白谷という現場でした。強い降雨時には、土石流が発生する危険性が非常に高い現場です。現地を初めて目にした時、急勾配な傾斜地が全体的に広がり、白谷第6号砂防堰堤の上流部と左岸部には著しく崩壊した岩肌が見られ、危険地帯ということがすぐに認識できました。

いつも何気なく通る道の付近にこんな場所があることに驚きを感じると共に、危険をすこしでも回避することができ、多くの人々が安心して過ごせることができる今回の白谷第3号砂防堰堤工事の施工に、自分も従事することができることを光栄に思います。そこで、今回の施工工事を行う中で実施したことを報告します。

### 2、工事の位置図







### 3.2、警報機及び監視カメラ



警報機



土石流センサー



監視カメラ

監視カメラで現場状況（土石流）を把握し、土石流が発生した場合、白谷第6号砂防堰堤に架けてある土石流センサーが土石流によって切れ、警報機が鳴る仕組みになっており、場内にいる人に即座に伝えることができます。また、雨量が警戒基準に達した時点でも警報機が鳴ります。

### 4、熱中症対策について

暑さによる注意力の低下で事故に繋がる危険性と、熱中症による症状を防ぐため熱中症対策の措置をとりました。

#### 4.1、応急キット



緊急時のために、現場小屋の中に熱中症処置応急セットを常備しました。また、設置場所が分かりやすいように入出口のドアに貼り紙を明示しました。

## 4.2、ドリンク支給及び休憩所の設置



ドリンクは、こまめな水分補給で脱水症状の危険性を防ぎました。現場に常備しており、作業員がいつでも補給できる体制をとりました。

休憩所では、強い日差しを浴び続けて体温の上昇を防ぐため、午前と午後の休憩時間に、日陰で休憩ができるようにテントとイスの設置をしました。



休憩所の設置箇所

夏期の現場作業で、やはり怖いのが熱中症だと私は思います。そして、当たり前かもしれませんが、上記のような熱中症対策を行って、作業員の安全を確保する措置をすることは非常に重要なことだと思いました。

## 5、おわりに

以上のような施工工事に私は携りました。入社して初めての現場ということもあり、解らないことが多々ありました。しかし、仕事をしている中で安全がなによりも第一だということは明白に解りました。私もこれから現場を持つことになれば、どんな状況でも安全を最優先して、現場の管理が行える技術者になります。

最後に、ご指導して下さった監督職員の方々、工事関係者の皆様に深く感謝申し上げます。